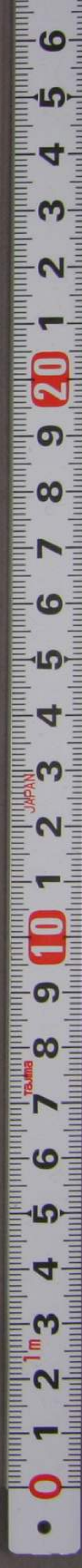


高知縣  
南部彦藏

上

3185





114  
A1334

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈



高知縣士族 臣南部秀藏義等誠恐誠惶頓首頓首臣頃  
日英學為修行當表工罷越申候處此度非常御改草  
ヲ以テ藩ヲ廢シ縣トナシ追々確乎タル御制度可被為立御  
趣臣至愚ト雖レ感敷ニ堪ヘス空切ニ思フ此ノ際ニ當リ苟モ不  
肖ニ意アルモノ黙止スヘカラス宜ク心肝ヲ發露シ萬分ノ報  
スヘシト是ヲ以テ其ノ愚ヲ忘レ左ニ建言仕候萬一御採用  
於被仰附テハ幸甚ノ至リニ堪ヘサルナリ臣義等昧死謹  
白

辛未八月二日



伏シテ惟ミルニ今般藩ヲ廢シ縣トナシ冗ヲ去リ簡ニ附キ内ハ  
以テ萬民ヲ保護シ外ハ以テ萬國ト對峙スルノ御基礎トシ  
テ諸事御改革ニ相成候御趨實ニ天下萬民ノ幸福何ヲ以  
テカ之ニ加ヘ宜ク感泣拜舞シ以テ天恩ヲ奉戴スヘキ者ナリ然ル  
ニ復古以來今日ニ至ル迄令ノ出ル毎ニ憂恤ヲ先ニシ公道ニ  
依ラサルヲナシ其實效ニ顯ル所者モ亦天下偏重ノ弊サナ  
カラシメ冗費ヲ省キ仁道ヲ施ス本ニシテ全ク言行相觀  
齟スルヲナシ雖モ只其ノ見ル所者ハ門閥ヲ廢シ禄ヲ削リ  
屋稅ヲ課スル等ニテ仁政ノ實未タ之ヲ見ルニ至ラス是ヲ以テ  
士民往々朝廷ノ御深意ヲ愉ルヲ能ワス大ニ疑惑ヲ成シ



或ハ之ヲ誹謗シテ取得乎ノ御政事ト云ヒ僻遠ノ愚民  
ニ至ツテハ其ノ門閥ノ廢セラレテ見テ其ノ御趣旨專ラ下民ヲ救  
フニ在ルノ御仁意ヲ認ムルニ能ワス却テ相恐懼シ上ノ人猶ラ  
此ノ如シ況ヤ我等下輩ニ於テオヤト曰フニ至リ安堵ノ思ヲ  
成サル者不鮮憐々キ者ト云フヘシ且ツ士族ノ者ニ至ラテモ其  
ノ祿ヲ削ラレ不平ノ心ヲ生シ猶ラ其ノ削ラルノ止マズシテ終ニ其  
ノ祿ノ尽ルニ至ルヲ恐レ乱ヲ思フ徒モ亦多カルヘシ若シ此ノ時ニ  
衆シ不逞ノ徒愚民ヲ煽動シ或ハ地ヲ割キ外援ヲ求ムル等  
石敬瑭カ故智ヲ用ユ者アレハ則チ其ノ害ヲ成サルノ期スヘカ  
ラス殆ト土崩ノ勢ニ至ラントモ亦計ルカラス慎マサルヘケシヤ苟

モ是ノ害ヲ除カント欲セハ祿ヲ廢シ家産ニ替ヘ永世不拔ノ  
者トナシ大ニ民心ヲ安堵ナサシムルヨリ善キハナシ且ツ國ノ品行ハ民  
ノ品行ニ依ル故ニ國ノ品行ヲ宜クセント欲セハ民ノ産ヲ大ニスルヨリ  
要ナルハナシ民産已ニ大ナレハ則チ恒ノ心油然トシテ生シ子弟ヲ  
訓導シシ智識ヲ磨カシムルニ至ルヘシ誠ニ此ノ如クナレハ則チ民ノ  
品行大ニ上リ文明ノ基礎トニ於テ立ツ故ニ民産ハ之ヲ大成  
サスニハアルヘカラス且ツ又當時士族文武ノ常職ヲ解キ兵ヲ民  
ニ取ルノ事トナレハ則チ民十年ノ後ニ至ツテ兵ヲ知ラサルモノナク  
シテ平民ノ權自然ニ其ノ強ヲ増シ藩ヲ廢シ縣トナシ務メテ官  
負ラ省クニ至ラテハ政府ノ威ヲ以テ民ヲ壓制スルノ權自ラ減シ少



吏民ヲ虐スルノ弊ヲ去リ文明ノ治ヲニ於テ見ルヘシ豈ニ美事  
ナラスヤ然リト雖凡利ノ起ル所害モ亦必ス從フ故ニ能ク其害ヲ  
察シ早ク之カ所ヲナセハ則チ國家般石石ヨリ安ク之カ所ヲ成  
サレハ則チ國家亦卵ヨリ危シ然レハ則チ其ノ害察セズハア  
ルヘカラス其害タル所以ノ者ハ何クヤ曰ク民權已ニ強ク政府ノ權  
漸ク減スレハ則チ税法ヲ変シ之ヲ輕クセスハアルヘカラス何トナ  
レハ則チ皇國ノ古昔兵ヲ民ニ取ルヤ其ノ時ノ制實ニ十分ニシ  
テ一ヲ取レリ且ツ方今西洋諸國<sup>國</sup>制タル其ノ地稅概テ此ノ如シト  
云フ然リ而メ今皇國ノ制タル十二ニシテ六ヲ取ル甚シト云フヘシ然  
リト雖凡民其ノ制ニ服スル所ノ者ハ他ナシ政府ノ權大ニ強ク民

權大ニ弱ケレハナリ故ニ兵ヲ民ニ取リ民權已ニ強クシテ當今ノ稅  
法ヲ改メスレハ則チ民其稅ノ重キト西洋諸國其ノ比ナリ且ツ皇  
國ノ古制ニ違フテ甚シキヲ知レハ則チ必ス物議ヲ生シ敢テ其  
稅ヲ納メサルニ至リ其ノ勢ニ將ニ制スヘカラス至ラントス恐レサルヘ  
ケンヤ故ニ稅法モ亦大ニ之ヲ改正セシハアルヘカラス然レハ則チ此ノ  
三者ハ當今ノ急務カニシテ早ク之ヲ施スノ策ヲ立テスハアルヘカラ  
ス然リト雖凡國家旧來ノ餘弊ヲ受ケ内外ノ國債其ノ員  
已ニ多ク加之百度創造ノ際其ノ費モ亦鮮カラス故ニ其ノ術  
ヲ得スシテ此ノ三者ヲ行ハント欲セハ政府乍チ其ノ用ヲ欠キ其  
費ヲ支ルヘ能ワサルニ至ントス然レハ則チ其術求メスハアルヘカラ



ス今其ノ禄ニ替ルニ産ヲ以テシ大ニ税法ヲ改正シ民産ヲ大ニスルノ術ヲ求メ公私共益ノ策ヲ立ツルト左ノ如シ

一 禄ヲ廢シ家産トナシ每人ニ家産券ヲ與ヘ賣買ヲ許シ且ツ賣地正税ト切替度願ノ者ハ之ヲ免許スヘシ

但家産ハ永世其ノ有トナシ假令罪アリ共容易ニ之ヲ沒收スヘカラス且ツ賣買ノ節ハ官府ノ調印ヲ請ヒ以テ其約ヲ堅クスヘシ

一 一般ノ家産家産券及ヒ加治子等一切ニ五分一ノ税ヲ課スヘシ

但從來地方ニ掛ル雜税ハ之ヲ除クヘシ且ツ賣地代金ヲ以テ學校等ノ基礎ヲ立テ二十年ノ後ニ至リ後未ノ入費

ヲ計リ別ニ之ヲ課シ概テ十分一ノ制ニ致スヘシ

一 地方正税每村ニ縮メ二十ニ分十年々一分宛式價ヲ定メ入札ヲ以テ萬民ノ家産ニ賣渡スヘシ

右ノ法ヲ行ヘハ則チ左ノ筭ニ成ル

一 凡ノ地三千万石也

正税米一千二百万石也 四ツ成ヲ以

内二百万石也 家産券切替ノ宛

殘而米一千万石也

代金五百万兩也 石付金五十兩ヲ以

右二十ニ割ノ一ヶ年分左ノ如シ



一 米五十万石也  
代金二千五百万両也

右ノ通ニテ正税米年々減スルニ從ヒ冗費ヲ省キ冗官ヲ汰シ漸々手ヲ下シ二十年ノ後ニ至リ二十五分一ノ税及ヒ諸運上等ニテ諸費充分相弁スヘキノ策相立ツヘシ

一 賣地望ミ鮮ニテ其ノ歳分賣渡シ相済マサル分ハ之ヲ次年エ送ルヘシ

但望ミノ者鮮シト雖凡汲々賣ニテ求ムヘカラス靜以テ之ヲ待ツヘシ信義顯ハルニ從ヒ其増益スルノ疑ナカルヘシ

一 賣地代金ハ他金ニ混セラル様精々取縮メ大藏省ニ納メシムヘシ

但此金ハ國債ヲ拂ヒ且後世ノ利益ヲ開ク等ニ用スヘシ

一 正税買受ルト雖凡全ク其ノ地ヲ有スルテラス從來加治子取ノ者ト分有ノ者トス正税加治子併有ノ後全ク其地ヲ有スルノ權アルヘシ

一 荒地開發望ミノ者ハ相應ノ價ヲ以テ賣渡シ年限ヲ定メ開發ヲ成サシム成就ノ後二十五分一ノ税ヲ課スヘシ

一 政府ヨリ貧民等ヲシテ開發ヲ成サシムル者ハ成就ノ後政府ノ地トナシ先ツ當今ノ法ヲ以テ税ヲ課シ漸ク以テ賣渡シ一般ノ法ニ致スヘシ

右ハ其ノ大略ナリ之ヲ實地ニ施スニ至ツテハ猶衆議ヲ尽シ精力



メテ人情ニ適スルヲ要スヘシ且ツ皇國今時ノ制ヲ以テ之ヲ考レハ  
則チ國內ノ地ヲ舉テ之ヲ官地トナシ民ヲシテ之ヲ耕ヤサシムル  
ノ体裁ニシテ民ノ産タル所謂加治子ナル者アリト雖モ其數甚微  
ナリ故ニ皇國ノ民タル者之ヲ要スルニ猶魯西亞ノ莊僕ノ類ノ如  
シ是ヲ以テ國ヲ保護スルノ權政府專ラ之ニ任シ國ノ得失民  
其ノ間ニ関セサル者ノ如シ其可ナラシカ且ツ又英國專ノ制ヲ按ス  
ルニ則チ監國ノ地ヲ以テ之ヲ民ニ附典シ僅ニ二十五分一ノ稅ヲ  
課スレバ則チ國地ヲ舉テ之ヲ民地トナスノ体ナリ故ニ其ノ地ヲ以  
テ富ヲ致ス者居多ナリ其ノ産已ニ大ナレハ則チ其ノ産ヲ保護  
スルノ心必ス厚クシテ報國ノ心自ラ深シ是レ則チ國ノ隆替

氏ト之ニ由リ國ヲ保護スルノ權氏ト之ニ任スル者ナリ近來魯西  
亞ノ莊僕ヲ廢セシ者ハ蓋シ之レ等ノ為メナルヘシ然レハ則チ彼  
此ノ優劣甚タ明ナリ右ノ策ノ如キハ則チ官地ヲ變シテ民  
地トナシ報國ノ心ヲシテ自ラ深カラシムル所以ノ者ナリ希々斷  
然之ヲ用イ給ハニ懇切ノ至リニ堪ヘサルナリ



